

# 成美だより

サン  
3シャイン（3つの輝き）



子どもが輝く 教職員が輝く 保護者/地域が輝く

津市立成美小学校

2019年5月

文責：校長 田中 有子

## 大型連休明けは 交通安全教室から

新学期が始まって3週間、生活のリズムがようやく整ってきたところで学校は10日間もの連休でした。「津市内で交通事故死」との報道もあったため、何事もなく無事に連休が終わりますように…と願わずにはいられない10日間でした。連休明けの5月7日（火）には交通安全教室を全学年において実施しました。実技用の自転車は、代表児童が家から運んで準備してくれました。PTAの校外活動委員会とSSCボランティアの皆さん、ご協力をいただき、ありがとうございました。1, 2, 3年生は『道路の歩行の仕方』（運動場）、4, 5, 6年生は『自転車の乗り方』（運動場）という内容について学習をしました。



安全確認は  
①右を見て  
②左を見て  
③もう一度  
右を見て



連休中のある日、間もなく午後7時という時間に私は市内商店街の歩道を歩いていました。前の横断歩道が赤信号だったため立ち止まり反対車線側を見ていると、男性が赤信号なのに横断歩道を渡り、すぐ後ろから女性も渡りました。その男女はゆっくりと歩きながら振り返り、見つめる先には男の子がいました。男の子が横断歩道を渡らず立ち止まっていると、男性は男の子に「大丈夫だから」と声をかけました。男の子は何も言わずに少し下を向き、信号が青になったのを見て横断歩道を渡りました。渡り終えた男の子も先に渡った男女もあらためて何か会話する様子はありませんでした。3人は親子のようです。この場面で小学生らしき男の子は、一体どんな気持ちだったのでしょうか。子どもたちは学校で学んでいることを実生活の中で最大限に活かし、安心安全な社会を築く一員になってくれるはずです。そのことに大人がブレーキをかけては絶対にいけません。

☆「横断歩道」や「歩道」の安全が保障されなくなっています。

先日は、歩道で信号待ちをしている保育園児に車両が突っ込み、命を奪われるという痛ましい事故の報道がありました。横断歩道を青信号で渡っていても事故に遭うケースも増えています。特に信号のない横断歩道では、『車が止まってくれる』と思い込み渡るのではなく、立ち止まって安全を確かめることが求められます。

## ☆道幅の狭い交通量の少ない道路

子どもたちが『車はめったに通らない』と思っている場所ほど油断をして、急な飛び出しなどによる交通事故が発生しています。自動車メーカーのテレビコマーシャルに「危険を察知」という言葉が出てきます。交通事故防止のために一番必要なことは、子どもたち自身が危険予測する力をつけることだと考えます。交通安全教室で学んだことを活かして、見通しの悪い交差点での左右確認・一時停止等を確実にを行い、自分の体をしっかり守ってほしいと思います。

## 豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、 たくましく生きる児童の育成

今年度の学校教育目標を「豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童の育成」とします。「子どもが輝く・教職員が輝く・保護者/地域が輝く」という「3シャイン(3つの輝き)」をキャッチフレーズに、「かかわり合いつながり合える学校」を学校経営の基本方針とします。子どもたちにとって、魅力ある成美小学校にするとともに、子どもたちが学校で人とつながり生き生きと輝くことができる場面や機会をつくっていくことで、心豊かでたくましい育ちが実現できるようにと考えています。下記のように「めざす学校像」「めざす子ども像」「めざす教職員像」を設定し、目標実現に向けて全教職員が一丸となり成美小学校の教育活動をすすめていきたいと思ひます。ご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。



### ○めざす学校像

- ・ 行きたい学校 (子ども)
- ・ 行かせたい学校 (保護者)
- ・ 立ち寄りしたい学校 (地域)

### ○めざす子ども像

- ・ すすんで学ぶ子
- ・ 思いやりのある子
- ・ たくましい子
- ・ 地域を愛する子

### ○めざす教職員像

- ・ 子どもとともに学び高め合う教師
- ・ 保護者や地域から信頼される教師
- ・ チーム成美小の一員として、課題解決に努める教師

## 学校HP (ホームページ) について

「保護者専用ページ」にログインしていただくと、公開ページよりも大きいサイズの掲載写真をご覧いただけます。また、発行済みの学年通信等もこちらに掲載しています。

URL <http://ednet.res-edu.ed.jp/s-seibi/>

今年度のパスワード(保護者専用)をすでにお知らせしてありますが、ご不明の点などがありましたら担任を通じてお尋ねください。